



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ

<http://www.fureai-support.jp/>



FUREAI SUPPORT HOUSE AT ATELIER NPO

2・3月号

平成31年1月25日

- 法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(南飯渚) TEL 0244 (36) 3582
- 中央児童センター(ポニークラブ) TEL 0244 (35) 2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわりクラブ) TEL 0244 (37) 8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだかクラブ) TEL 0244 (35) 3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんきクラブ) TEL 0244 (32) 1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはなクラブ) TEL 0244 (26) 9011
- 相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

平成30年度も、保護者の皆様はじめ多くの方々のご支援をいただき、前年度にもまして活動することができました。数値では表せない私共の活動を温かく見守り、大きな成果を生み出せる環境をいただき、心より感謝申し上げます。

大震災より間もなく8年、今年度の絵画造形教室の活動も、しめくり・まとめの時期になりました。第93回修了制作展『こどものえてらんかい』第53回修了式・レセプションは、わくわくランドにて行います。詳細につきましては、後日あらためてお知らせいたします。

立春を過ぎてはまだ寒さが続きます。イキイキ キラキラ いい笑顔 で 春を迎えましょう。



カレンダーづくり



もちばなづくり



おもりのすすづくり



6年生卒業制作・自画像

12・1月のかがぞうけいきょうしつでは…

カレンダーづくり

日本習字・真美習字教室の水野友美子先生にとてもアートなお習字を教えてくださいました。

アルバムのえ・イラスト・じぶんのかお

成長の記録の一つとしてアルバム制作を毎年行なっております。一枚の思い出に残る絵と自筆のサインに自分の顔をよく見て描きました。

まんげきょうづくり・ケーキづくり

仙台の宮城野高校の峰岡先生・相澤先生のご指導を受け美術コース1年生9人の皆さんと万華鏡作りをしました。ちひろリーダーのおばあちゃんちで作った甘い苺をたっぷりのせ、ケーキも超豪華にできました。

もちばなづくり

小正月の行事の一つとして今年も餅花を作りました。白とピンクの餅をつけ、紅梅白梅が咲いたようなアトリエには、もう春がいっぱいです。

陶芸教室・おもりのすすづくり

テラコッタ粘土を使って、お守りの鈴を作りました。心を込めて思い思いの形を作り、仕上げました。これから2～3週間乾燥し、焼き上げます。お楽しみに…

卒業制作・自画像制作

6年生は11月より自画像の卒業制作に入りました。今までを振り返りながら、思春期の自分を見つめ中学校生活に入って欲しいという願いを込め、倉本先生が特別指導。

2・3月の事務連絡&活動予定

<2月のご請求>・月会費

<3月のご請求>・月会費に加えて個人使用分絵具代

ガラス絵制作

曇りガラスにパスで線描、指に絵具をつけて彩色。それを裏返して台紙にはって完成。30年経っても40年経っても、ピッカピッカに輝いています。

おたのしみかい

北町アトリエ 3月 8日(金)

南飯渚アトリエ 3月13日(水)

※教室の最終日に行います。

第93回 修了制作展『こどものえてらんかい』

3月21日(木・祝) 10時～16時

第53回 修了式・レセプション

3月21日(木・祝) 15時から16時

※詳細は後日、別紙にてご案内いたします。

かがぞうけいきょうしつ 代替勉強日のお知らせ

何らかの理由で、お休みした方の代替勉強日を行います。4月にお知らせした予定は2日でしたが変更になりました。

- 日時：3月9日(土) PM3時30分～PM5時
- 場所：北町アトリエ

※ 出席する場合は、前日までに必ずご連絡ください。

かいがそうけいきょうしつ・・・おやつ編



おやつのはじめ・・・ 倉本が相馬に帰郷し絵画教室を開講。その後、結婚し子どもが生まれ、我が子も絵画教室に入会。自分の子どもが入会するまではおやつのことなど考えもしなかったが・・・教室の時間が長いこともあり子どもを持つ親としておやつ的重要性を感じ、授業の中におやつを取り入れたのがはじめです。これまで、絵画教室のおやつは、栄養を考えた補助食としてだけではなく、友達との関係性を作るため、そして思いやりを引き出すためこのおやつをどう分けるか考え数学的学びをしながら、教材としてのおやつ役割も担ってきたのです。

絵画教室の思いでは・・・と、卒業生に聞いてみると第一番がコロッケ当時 20 円、モチーフにしたスルメをストーブの上で焼いて食べたスルメの香ばしい味、落葉を集めて焼いたやきいもの味、初めて自分で焼いた目玉焼き自分で握った新米オニギリの味、キャンプで食べたさば缶のご飯、メー乳（山羊の乳）シャーベットなど・・・ほとんどがおやつ、食に係わる思い出を語ります。

私のおやつのはじめ・・・昭和 30 年代、昔の話になりますが、母と何やら語りながらめん棒でのし板いっぱいのにされた小麦粉が、大小の湯のみ茶碗で、ドーナツ形に抜かれていく。母の作る手をじっと見て作ったねじりカリントウ。不思議に大きく膨らんでいった蒸しパンやザラメ砂糖からできたカルメ焼き。それらは、手作りのおふくろの味を美味しく食べるだけではなく、忙しい母との心安まる一時であった事を懐かしく思い出されます。

最近、とても憂いの子どもの行動・・・戦後物が乏しい時代から高度成長期に入り物が豊富になり、何でも手軽に便利に手に入る時代。食においても飽食の時代。時代が変われば食生活も変わっていくのは当然と思うが、おやつのはじめ観が変わってきました。おやつばかりでなく、日本の食事情が変わってきています。これでもかこれでもかと美味しいものが溢れ、いつも満腹状態で、美味しいものでもさほど美味しいと感じない。食べ残しゼロ運動に自治体あげて参加する程、昨今の食事情は日本中の多くの人が憂っている問題になっています。

絵画教室のおやつもそんな社会の状況を把握しながら出来るだけ手作りで栄養を考えたもの・・・を基本に、毎回手間をかけ用意していますが、満たされ過ぎているのか、食べなくていい・・・これは嫌い・・・と、喜びが感じられませんか。スナック菓子なら喜んで食べるが、仕方ないから食べてあげると子どもも目につきます。おやつばかりでなく日常全般に物が溢れているので、ありがたみを感じられないのが現状です。子ども達の感動体験が乏しくなっていることへの危機感を痛切に感じる昨今です。

補助食としてのおやつのはじめは終えたとしても、心のバランスを考え、子どもの育ちを考えるうえでのはじめは大きいので今後もおやつは継続していきたいと思えます。

ご家庭でも御一考いただければ幸いです。（右++頁に続く）

インドの食糧事情・・・インドに 1 月 19 日から取材で出かけている倉本からメールが届きました。昼時に村々を回ったが、どこの家も少しばかりのパサパサした米と豆粒の入ったカレーのみだ。とてもカメラをむけられなかった・・・。ただホットするのは、子ども達の屈託のない笑顔と明るさに救われている。

物が溢れる中にある日本の子どもと、物が少ないインドの子どもをかいまみて、子どもの幸せは、私たち大人が意識しなければいけない事だと実感している。物質が豊かである事に感謝できない、こんなもったいない事はない。改めなければと反省します。

特別授業 まんげきょう・ケーキづくり



宮城野高校のおねえさんから

感想・メッセージをいただきました。一部抜粋してご紹介します。楽しかった。よい経験になった。またこのような機会があったら参加したい。と全員の皆さんが書いてくれました。嬉しいですね。（〇）

特別授業の感想

子ども達にこういった形で接するのが初めてで、どんな対応をしたらいいのか分からず最初は不安でしたが子ども達は本当に明るく、元気に話しかけてくれたので不安になる必要なんて全くなかったなと思いました。人に教える楽しさを知れた良い 1 日となりました。（京華）

4 歳から高 1 までの子と交流ということで上手く話せるか不安でしたが、皆元気で明るくとても楽しく活動することができました。他にも他校の美術科の先生と話す機会もあり有意義な 1 日になったと思います。（梨麦子）

美術を通して皆様と関わることができ、とても嬉しいです。皆、一生懸命制作し、私たちも楽しむことができました。初めての経験で至らぬ点もあったかと思いますが、皆と最高の思い出を作ることができました。（文音）

万華鏡が上手に作れたのは、もちろんケーキも私がほとんど手を出していないのにすごくきれいにしかも全員で力を合わせてすばらしい出来に完成しました。とても美味しい豪華なケーキができ楽しかった。（季奈）

子ども達と一緒に創作活動をすることで、物を教えることの難しさと一緒に作ることの楽しさを学びました。班の皆が説明をちゃんと聞いてくれ、完成できたのでほっとしました。（百花）



特別授業での子ども達の様子が目に浮かびます。※紙面の関係で掲載できないリーダーさんのはアルバムに編集します。